



Downstream user exposure scenarios being prepared for REACH

REACH 川下ユーザー暴露シナリオ準備進む

国際アンチモン協会 (i2a) は10種類のアンチモン物質についてREACH登録資料を準備中であり、現在は登録期限が2010年の3物質—金属アンチモン、三酸化アンチモン (ATO)、ヘキサヒドロキソアンチモン酸カリウム (SHHA)—について注力している。我々は現在、消費者暴露と職業暴露、環境経由の暴露について暴露シナリオを開発中である。あらゆる開発の基礎としてATOリスクアセスメントからの暴露データが貢献することになる。川下ユーザーやユーザー団体へのアンケート調査により追加データが収集されている。上記3物質の用途に関する暫定的な結果は[http://www.antimony.be/reach/docs/ListOfIdentified Uses.pdf](http://www.antimony.be/reach/docs/ListOfIdentifiedUses.pdf)で閲覧できる。

i2aはメンバーの顧客が用途記述コード (例; PROC=プロセスカテゴリー、SUs=用途セクター、ERCs=環境放出カテゴリー; 詳細はREACHガイドラインR12 (用途記述システム) を参照) を正確に割当てることができるように、2009年11月30日の期限までにアンチモンのすべての用途を特定するためのキャンペーンを実施した。

これらのコードはi2aのコンサルタントによりさらに包括的なカテゴリーに集約される。そのため、各セクターで異なる暴露のすべてを網羅するごく少数の暴露シナリオに絞り込む必要がある。

暴露シナリオの第1回目のドラフトは2010年2月までに準備され、主要な関係者により検証される。上記3物質については2010年4月までにすべての暴露シナリオが完成する。

ユーザーは自社製品のすべての用途を直ちに原料サプライヤーにお知らせ下さい。

I2a argues against wider RoHS ban that includes antimony trioxide

i2a 三酸化アンチモンを RoHS 指定する動きに反論

i2aニューズレター2009年1月号で既報のとおり、欧州委員会 (EC) は電気電子機器における特定有害物質の使用制限についてのEU指令 (RoHS in E&E) の改訂を提案したが、三酸化アンチモンはRoHSリストには指定されなかった。改訂案は2010年初めに予定されるEU議会並びに評議会で採択されることになっている。最近、欧州議会のJill Evans議員 (英国代表で欧州緑グループ・欧州自由連盟所属) がECに対し、RoHS指令の74項目について修正を申し入れた (2009年11月のi2aプレスリリース参照)。69項目めでは次回のRoHS指令見直しにおいて三酸化アンチモン (ATO) をリストに指定するよう修正提案されている。次回の見直しは4年後に予定されている。

このため、ATOは4年後のRoHS指定候補物質リストに掲載される可能性がある。この提案によってATOの電気電子機器への使用が直ちに禁止されるわけではないが、ATOが消費者リスクを引き起こさないと科学的な証拠が得られていることに鑑みれば、我々はこの提案を正当化することはできない。

アンチモン産業は比較的小規模な業界だが、ヒトの健康と環境に関する自主的で科学的な研究に過去9年間で3百万ユーロ以上を投資してきた。ATOに関するEUリスクアセスメント報告書は完成し公表されており、同じデータがOECDでも承認された。国際的な独立系の専門家はATOが携帯電話などの消費財やいかなる電気電子機器用途に使用されても消費者にとってリスクはないとの見解で一致している。何故なら、アンチモンはプラスチック樹脂に封入されているからだ。リスクアセスメントはさらに、廃棄処分 (埋立または焼却) で放出されたアンチモンに関してもリスクはないとしている。

Science as basis for regulatory decisions 規制確定の基礎は科学

i2a とそのメンバーは規制の問題を非常に重大に受け止め、科学研究への投資を継続している。REACH 登録資料に関しては現在 10 物質について準備中であり、そのうち 3 物質については 2010 年、その他の 7 物質については 2012 年に完了する。我々は将来どの物質がどの用途に使用されるべきかを最終確定するための基礎は技術評価基準と科学研究にあると信じる。

Guidelines for worker-health monitoring available 労働者の健康モニタリングのためのガイドライン作成

生産労働者の安全は我々のメンバーにとって優先順位の高い課題である。このため、ルーヴァン・カトリック大学（ベルギー）が“製造部門の労働者の ATO への慢性的暴露に関連する健康リスクの管理”と題するガイドラインを作成した。このガイドラインは適切かつ効果的な職業健康計画を指導するための情報を必要としている健康管理専門家向けに、三酸化アンチモンの安全性に関する既存データを要約したものである。ATO 生産者は労働者の健康保護に役立つデータベースが構築されるよう、ガイドラインに従って自主的に労働者の健康状態のモニタリングを開始することを約束した。

Communication with pre-SIEF and SIEF : classification and labelling (C&L) 物質情報交換フォーラム (SIEF) 参加候補企業との情報交換 : C&L

i2a はアンチモン 10 物質の REACH 登録候補企業と i2a のウェブサイトを通じて情報交換を継続する。2010 年末までに欧州化学物質庁 (ECHA) に統一された分類・ラベリング (C&L) を通告しなければならないため、現在収集中の科学データの分析から得られる C&L 情報は 2010 年中に公表される。

I2a membership encouraged by reduced fees for small tonnage bands i2a 会費区分に少量トン数帯を設定

i2a はメンバーを増やすため、10月の会議で取扱量が 10 t 未満のトン数帯の会費区分を設けることを決定した。メンバーが増えることにより i2a の市場での存在意義は高まり、また既存メンバーの会費も引き下げられることになる (i2a は非営利団体)。従って、10 t 未満のトン数帯の 12 年間における会費は € 42,000 以下から € 23,000 以下に引き下げられた。

Upcoming events 今後の会議予定

2010年3月16日 i2a理事会 (ブリュッセル)

2010年3月17日 i2a総会 (ブリュッセル)

i2a Contacts —i2a連絡先

役職	氏名	電子メールアドレス	電話番号
理事会議長	CA Rougier	charles-antoine.rougier@sudamin.com	+33 (0) 147711616
総会議長	Geert Krekel	geert.krekel@campine.be	+ 32 (0) 14 601 549
事務局長	Karine Van de Velde	kvdv@antimony.be	+ 32 (0) 3 297 60 92
総務部長	Nathalie Francis	nathalie@antimony.be	+32 (0) 2 762 30 93
科学部長	Anja Hlade	anja@antimony.be	+32 (0) 2 771 26 68

i2a
www.iaoaia.org
Avenue de Broqueville 12
1150 Brussels
Belgium